



林野庁 北海道森林管理局 根釧東部森林管理署

## チュプカの森から

※ チュプカ (cup-ka) とは、アイヌ語で「日の出る方角」「東」という意味です。

### 防災週間前後の取組

8月30日～9月5日は防災週間ですが、これに前後して9月7日に根室市総合防災訓練が行われました。根室半島沖で巨大地震が発生し、根室市内で多数の被害が発生したという想定で、根釧東部森林管理署からも、国有林の被災状況等をパトロールするというシナリオで参加しました。

また、防災週間に先立って、根釧東部森林管理署の本署（標津町内）と羅臼森林事務所（羅臼町内）で、津波避難訓練を実施しました。今回は、本署庁舎からだけでなく、官舎からの避難訓練も行いました。

以下は、入庁1年目職員の感想です。「入庁後初の津波避難訓練。地震が起きた時を想定して避難の一連の流れを確認しました。突然の災害に対応できるように避難用具の準備、避難ルートの確認など、常日頃から準備をしておくことの大切さを学びました。」

根室市長による  
ご挨拶

パトロールに出発

官舎からの  
避難訓練衛星携帯の  
置き場を確認「三の沼」に映える  
羅臼岳「四の沼」に映える  
知西別岳羅臼湖に向かう  
木道

羅臼湖ルール



### 紅葉の羅臼湖を巡視

知床半島最大の湖である羅臼湖には、国道344号線から遊歩道が伸びています。途中には5つの沼があり、雄大な景色が楽しめます。（登山に準じた装備が必要です。また、貴重な自然を守るための「羅臼湖ルール」が定められています。）

9月下旬の秋晴れの日、知床森林生態系保全センターのグリーン・サポート・スタッフとともに、この遊歩道を巡視しました。

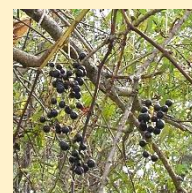
### 北海道庁による堅果類等調査に協力

北海道庁では、ヒグマの出没程度を予想するため、毎年秋に、ヒグマの餌となる堅果類等の結実状況を調査しており、国有林でもこれに協力しています。当署からも、各森林官によるミズナラの実（ドングリ）、ヤマブドウ、サルナシのなり具合の報告を取りまとめて提出しました。

ドングリは、昨年ほどの凶作ではないものの、今年も山であまりなっていないようですので、里に下りてくるヒグマが多くなる可能性があり、十分な注意が必要です。



ミズナラの実（熟す前）

ヤマブドウ  
(国有林外で撮影)サルナシ  
(国有林外で撮影)

〒086-1652 北海道標津郡標津町南2条西2丁目1番16号

TEL 0153-82-2202 (代表) FAX 0153-82-2284

[http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/introduction/gaiyou\\_syo/konsentoubu/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/introduction/gaiyou_syo/konsentoubu/index.html)